

# 食品ロス削減のための 災害備蓄食料の 有効活用事業

もうすぐ期限切れ！  
災害備蓄食料クラッカーがごちそうに！

[編集：長野市生活環境課]



## ■ 事業概要

### 【要旨】

賞味期限を迎える災害備蓄食料クラッカーの有効活用を図り、食品廃棄物を削減するため、長野県立大学との連携事業で災害時や子ども食堂などでの提供を想定したレシピを考案していただきました。

- 長野市災害備蓄食料クラッカー約20,000食のうち、製造から5年2か月を経過する約10,000食が賞味期限を迎え、入れ替える予定。従来は、地区防災訓練などで配布。
- 食品廃棄物を削減し、有効活用を図るため、大学に災害時を想定した料理のレシピ、及び子ども食堂、自主防災組織などでの調理を想定したレシピの考案を依頼。
- 平成30年7月 長野市と長野県立大学との包括連携協定の新規事業となる。
- 平成30年10月 研究成果を短大大学祭「六鈴祭」(ロクレイサイ)において公表。
- 平成30年10月 信州子ども食堂ネットワークへレシピとクラッカーを提供。
- 平成30年12月 市ホームページに中華風肉団子スープのレシピを掲載。